

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 国語読書			評価規準	知	思	態	配 時数
1 学 期	A 筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。 【知識及び技能】 自らの考えを理解するために必要な語句の働きを理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活での問いに対して積極的に考えている。	「探究する力」 ・本文全体の構成や展開を把握する。 ・文中の接続表現を意識して読む。 ・具体例から読み取れることを整理する。 ・問題提起に対する筆者の結論を読み取る。	○	○	○	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・筆者の考えを読み取ることに関心をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	B 筆者の主張と、それを支える根拠の関係を検討する。 【知識及び技能】 学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 主張とその前提や反証などといった、情報と情報の関係について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えを読み取ることに関心をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえている。	「和の思想、間の文化」 ・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を整理する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割を理解する。 ・本文全体の構成や展開を把握する。	○	○	○	・学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語彙を豊かにしている。 ・主張とその前提や反証などといった、情報と情報との関係について理解を深めようとしている。 ・日本の伝統的な考え方についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
2 学 期	A 具体例と主張の関係を捉え、他者と共有しながら自らの意見をもつ。 【知識及び技能】 学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨く。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確にしながらか、内容についての理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えを読み取ることに関心をもち、自分の考えを広げようとしている。	「ロボットに心はあるか」 ・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・具体例と主張の関係を捉え、自分の意見をもつ。 ・筆者の「心とは何か」に対する仮説を読み取る。	○	○	○	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨いている。 ・「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解し、内容についての理解を深めている。 ・心についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、他者との意見交換をおとして、自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	B 「『である』ことと『する』こと」をつかみ、現代社会についての考えを深める。 【知識及び技能】 学術的な学習の基礎を学んだりするための語句を、正確に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本社会についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、現代社会についての自分の考えを広げている。	「『である』ことと『する』こと」 ・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかむ。 ・「である」価値と「する」価値の違いを的確につかむ。	○	○	○	・政治や社会に関する語句の意味を正確に理解している。 ・筆者の述べる「『である』こと」と「『する』こと」について、関連するほかの教材を読むなどして、理解を深めている。 ・本文中で述べられている「『である』こと」と「『する』こと」の違いを整理し、それぞれの特徴を説明している。	○	○	○	17
	定 期 考 査						○	○		1
3 学 期	本文中の数値や地図を的確に読み取り、筆者の主張をつかむ。 【知識及び技能】 学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈が多様な論点と異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 人口減少について興味を持ち、そこから日本社会や世界が抱える課題について、自分の考えを広げている。	「未来の地図帳」 ・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、他者との交流を通して、考えを広げたり深めたりする。 ・筆者の結論を述べるために使われる表現に着目して本文を理解している。 ・本文の数値と掲載されている地図の関係を適切につかみ、内容への理解を深める。	○	○	○	・学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ・筆者の主張をおおそく理解し、その未来像について自分なりに考えを形成している。 ・筆者の主張と根拠として示された情報との関係を正しく理解し、根拠として示された情報から導き出される別の結論の可能性についても考えを膨らませている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1

合計
70

年間授業計画

都立拝島高等学校 令和7年度（3学年用）教科

地理歴史

科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：3

単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

教科担当：（1.2.5組：古川 3.4.6組：松本 7組：青木）

使用教科書：（日本史探究 高校日本史 日探706）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第8章「近世の幕開け」 【知識及び技能】 ・アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解する。 ・安土桃山時代の文化が生活文化のなかにとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現している。 ・豊臣政権の政策が村落・都市や対外政策に与えた影響を多面的・多角的に追究しようとしている。桃山文化の特色について、アジア各地のヨーロッパ諸国との交流などに着目して、主体的に追究している。	天下人の登場 豊臣政権と桃山文化	【知識及び技能】 ・アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ・安土桃山時代の文化が生活文化のなかにとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。 ・豊臣政権の政策が村落・都市や対外政策に与えた影響を多面的・多角的に追究しようとしている。桃山文化の特色について、アジア各地のヨーロッパ諸国との交流などに着目して、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	第9章「幕藩体制の成立と展開」 【知識及び技能】 ・幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察して、幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・アジアの国際情勢の変化に着目して、江戸幕府による貿易統制、禁教の徹底や、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・織豊政権と幕藩体制の社会の仕組みを比較・考察しながら、幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究しようとしている。 ・江戸幕府の鎖国政策について、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について、主体的に追究しようとしている。	江戸幕府の成立 江戸初期の外交	【知識及び技能】 ・幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察して、幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・アジアの国際情勢の変化に着目して、江戸幕府による貿易統制、禁教の徹底や、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・織豊政権と幕藩体制の社会の仕組みを比較・考察しながら、幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究しようとしている。 ・江戸幕府の鎖国政策について、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第9章「幕藩体制の成立と展開」 【知識及び技能】 ・諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治に至る推移について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人びとの生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制が安定していくなかで、江戸幕府の諸政策が人びとの暮らしへもたらした影響について、主体的に追究する。	幕政の安定	第9章「幕藩体制の成立と展開」 【知識及び技能】 ・諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治に至る推移について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人びとの生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制が安定していくなかで、江戸幕府の諸政策が人びとの暮らしへもたらした影響について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	第9章「幕藩体制の成立と展開」 【知識及び技能】 ・産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、都市の経済的繁栄に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様子について、その推移や展開を明らかにしようとする。	経済の発展	第9章「幕藩体制の成立と展開」 【知識及び技能】 ・産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、都市の経済的繁栄に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様子について、その推移や展開を明らかにしようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第9章「幕藩体制の成立と展開」	元禄文化	【知識及び技能】				

2 学 期	【知識及び技能】 ・都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制が安定していくなかでの経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとする。		・都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制が安定していくなかでの経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	6
	第10章「幕藩体制の動揺」 【知識及び技能】 ・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などに着目して、幕藩体制の変容や宝暦・天明期の文化の特色を理解する。 ・列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現する。 ・国際情勢の変化と影響などに着目して、幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとする。 ・飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとする。	幕政の改革と宝暦・天明期の文化 江戸幕府の衰退	【知識及び技能】 ・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などに着目して、幕藩体制の変容や宝暦・天明期の文化の特色を理解している。 ・列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 ・国際情勢の変化と影響などに着目して、幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。 ・飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第10章「幕藩体制の動揺」 【知識及び技能】 ・政治・経済と文化の関係などに着目して、近世後期の庶民の生活と文化の特色について、諸資料から情報を読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとする。	化政文化	【知識及び技能】 ・政治・経済と文化の関係などに着目して、近世後期の庶民の生活と文化の特色について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。	○	○	○	8
	第11章「近世から近代へ」 【知識及び技能】 ・アジア諸国の変化や貿易開始に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追究しようとする。	開国とその影響	【知識及び技能】 ・アジア諸国の変化や貿易開始に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
	第11章「近世から近代へ」 【知識及び技能】 ・政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本がどのような契機によって近代の国家・社会へと向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとする。	幕府の滅亡と新政府の発足	【知識及び技能】 ・政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本がどのような契機によって近代の国家・社会へと向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第12章「近代国家の成立」 【知識及び技能】 ・明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解する。	明治維新	【知識及び技能】 ・明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。				

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 ・明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとする。	以欧米の終焉、欧米・アジアの諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	第12章「近代国家の成立」 【知識及び技能】 ・諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解する。 ・諸資料を読み解いて得られた情報をもとに、現代日本の課題の形成に関わる歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代日本の課題について、既習知識と結びつけて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとする。 ・自ら主題を的確に設定し、資料を適切に読み取ったうえで複数の解釈を比較・検討・選択し、十分な論理展開で叙述・表現する。	立憲国家の成立 現代日本の課題について考える 【知識及び技能】 ・諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 ・諸資料を読み解いて得られた情報をもとに、現代日本の課題の形成に関わる歴史を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代日本の課題について、既習知識と結びつけて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。 ・自ら主題を的確に設定し、資料を適切に読み取ったうえで複数の解釈を比較・検討・選択し、十分な論理展開で叙述・表現している。	○	○	○	14
	定期考查		○	○		1
						合計
						105

使用教科書： (第一学習社版「高等学校 政治・経済」)

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、民主主義を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 ・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 ・個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。 ・企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 ・自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	オリエンテーション 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 ①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 ③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 第3節 市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題	・政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 ・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 ・個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。 ・企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 ・自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	25
	・財政の機能としくみについて、理解している。	第4節 持続可能な財政および租税のあり方	・財政の機能としくみについて、理解している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考				

2 学 期	・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現在の日本経済の現状と課題について，理解している。 ・現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の社会保障制度について，理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。 ・21世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。 ・日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について，理解している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。	第5節 金融を通じた経済活動の活性化 ①金融のしくみとはたらき 第6節 経済活動と福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 第2章 現代日本の諸課題の探究 第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み 第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 ①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割	・「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現在の日本経済の現状と課題について，理解している。 ・現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の社会保障制度について，理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。 ・21世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。 ・日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について，理解している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。	○	○	○	30
3 学 期	・国際経済における日本の地位について，理解している。 ・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	第4節 国際経済において求められる日本の役割 ①国際経済における日本の地位と国際協力 第2章 国際社会の諸課題の探究	・国際経済における日本の地位について，理解している。 ・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	15
							70

年間授業計画

都立拝島高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

保健体育

科目 体育

教科 保健体育

科目 体育

単位数 3 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組～ 7 組 男子

教科担当者 野口・幡野・久保田

使用教科書 (体育 大修館)

教科 保健体育

の目標

【知識及び技能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に関与することを目指す。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体 つ くり 運 動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・ムカデリレー ・全員リレー	A 体 つ くり 運 動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳(1・2学期) 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解	D 水 泳	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。	○	○	○	14
	H バドミントン(通年選択科目) 【知識及び技能】 バドミントンの特性やルールについて理解するとともに、シャトルをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組む態度を養う。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球 技	・バドミントンの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	
	H テニス(通年選択科目) 【知識及び技能】 テニスの特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球 技	・テニスの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	
	H 卓球(通年選択科目) 【知識及び技能】 卓球の特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球 技	・卓球の特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	
	H アルティメット(通年選択科目)	・ドリブル		・アルティメットの特性を理解するととも				

年間授業計画

都立拝島高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

保健体育

科目 体育

教 科： 保健体育

科 目： 体育

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組 女子

教科担当者： 久保田・笹原・梅木

使用教科書： (体育 大修館

)

教科 保健体育

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に取り組む態度を身に付ける。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体 つ くり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・ムカデリレー ・全員リレー	A 体 つ くり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳(1・2学期) 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 D 水泳	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解	D 水泳	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。	○	○	○	14
	H バドミントン(通年種目選択) 【知識及び技能】 バドミントンの特性やルールについて理解するとともに、シャトルをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組む態度を養う。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球技	・バドミントンの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	
	H テニス(通年種目選択) 【知識及び技能】 テニスの特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球技	・テニスの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	
	H 卓球(通年種目選択) 【知識及び技能】 卓球の特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球技	・卓球の特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	35

都立坪島高等学校 令和7年度 教科

外国語

科目 英語コミュニケーションⅢ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅢ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組：竹村・長野・藤野) (2組：竹村・長野・藤野) (3組：竹村・長野・菊地) (4組：竹村・長野・藤野)
(5組：竹村・長野・藤野) (6組：竹村・長野・藤野) (7組：竹村・長野)

使用教科書： VISTA Communication English Ⅲ (三省堂) VISTA Communication English workbook (三省堂) be English Grammar23 workbook (いづな書店) フレーズで英単語Cheer 3000 (いづな書店)

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的・基本的な外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、基礎的・基本的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して基礎的な内容を適切に表現し	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、基礎的・基本的なことを、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	[English as an International Language] 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の歴史や変化について、その違いや文化との結びつきについて考えさせる。	・各国の伝統舞踊について、その違いや文化との結びつきを知る。 ・be動詞・一般動詞を理解する。 ・英語の歴史や変化についてやりとりする。	・英語の歴史や変化について、聞いて概要を把握できる。 ・英語の歴史や変化について、読んで概要を把握できる。 ・英語の歴史や変化について、話して伝え合うことができる。 ・be動詞・一般動詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	[Digital Art] 【知識及び技能】 現在完了形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術と芸術の結びつきについて考えさせる。	・デジタルアートについて知る。 ・現在完了形を理解する。 ・デジタルアートについてやりとりする。	・科学技術と芸術の結びつきについて、聞いて概要を把握できる。 ・科学技術と芸術の結びつきについて、読んで概要を把握できる。 ・科学技術と芸術の結びつきについて、話して伝え合うことができる。 ・現在完了形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	[Sports Unite People for Peace] 【知識及び技能】 受動態を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツを通しての世界平和について理解を深める。	・スポーツを通しての世界平和について知る。 ・受動態を理解する。 ・世界平和についてやりとりする。	・スポーツを通しての世界平和について、聞いて概要を把握できる。 ・スポーツを通しての世界平和について、読んで概要を把握できる。 ・スポーツを通しての世界平和について、話して伝え合うことができる。 ・受動態を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	[Let's Have a Picnic] 【知識及び技能】 動名詞と不定詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞と不定詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ピクニックの歴史とそのメリットについて考えさせる。	・ピクニックの歴史とそのメリットを知る。 ・動名詞と不定詞を理解する。 ・ピクニックの歴史とそのメリットについてやりとりする。	・ピクニックの歴史とそのメリットについて、聞いて概要を把握できる。 ・ピクニックの歴史とそのメリットについて、読んで概要を把握できる。 ・ピクニックの歴史とそのメリットについて、話して伝え合うことができる。 ・動名詞と不定詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2 学 期	[Dresden Elbe Valley] 【知識及び技能】 関係代名詞と関係副詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞と関係副詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて考えさせる。	・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて知る。 ・関係代名詞と関係副詞を理解する。 ・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについてやりとりする。	・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて、聞いて概要を把握できる。 ・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて、読んで概要を把握できる。 ・世界遺産をとりまく歴史と環境について、話して伝え合うことができる。 ・関係代名詞と関係副詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	15
	[Flowers from Life] 【知識及び技能】 名詞を就職する現在分詞、過去分詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 名詞を就職する現在分詞、過去分詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 いのちの花プロジェクトを通して命の大切さについて考えさせる。	・いのちの花プロジェクトについて知る。 ・名詞を就職する現在分詞、過去分詞を理解する。 ・命の大切さについてやりとりする。	・いのちの花プロジェクトについて、聞いて概要を把握できる。 ・いのちの花プロジェクトについて、読んで概要を把握できる。 ・命の大切さについて、話して伝え合うことができる。 ・名詞を就職する現在分詞、過去分詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	[Global Refugee Crisis] 【知識及び技能】 比較級と最上級を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 比較級と最上級を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 難民問題について考えさせる。	・難民問題を知る。 ・比較級と最上級を理解する。 ・難民問題と課題解決に向けて自分にできることについてやりとりする。	・難民問題について、聞いて概要を把握できる。 ・難民問題について、読んで概要を把握できる。 ・難民問題について、話して伝え合うことができる。 ・比較級と最上級を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	15
[Dream Bigger, Go Further] 【知識及び技能】 形式主語itを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語itを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 植松さんのスピーチを通して自分の将来について考えさせる。	・バイオロギングの研究を知る。 ・分詞構文、強調構文を理解する。 ・動物や自然環境についてやりとりする。	・バイオロギングについて、聞いて概要を把握できる。 ・バイオロギングについて、読んで概要を把握できる。 ・動物や自然環境について、話して伝え合うことができる。 ・分詞構文、強調構文を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	[The Open Window] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。	・物語の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・物語を聞いて概要を把握できる。 ・物語を読んで概要を把握できる。 ・登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
	[The Christmas Truce] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。	・物語の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・物語を聞いて概要を把握できる。 ・物語を読んで概要を把握できる。 ・登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
	[My Dream] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 野口氏が子供のころに書いた作文の内容について考えさせる。	・作文の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・作文を聞いて概要を把握できる。 ・作文を読んで概要を把握できる。 ・野口氏が子供のころに書いた作文について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1 合計

都立拝島 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教 科： 総合的な探究の時間 科 目： 総合的な探究の時間

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（１組：長野）（２組：竹村）（３組：小泉）（４組：高須）（５組：竹澤）（６組：野口）

(7組：高野)

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書 ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	進路探究	・進路に関わるニュース調べ ・気になった最近のニュース調べ ・進路に関わる全般的な指導	・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	5
	体育祭練習	・体育祭の意義を理解する。 ・集団行動、協調性とは何かを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。	・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	8
	清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。	・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	4
2 学 期	清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。	・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	3
	進路探究	・自分の進路に関わる、社会問題等について調べ、課題を自分ごととして捉え、主体的・協働的に学び、行動につなげる。	・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	主権者教育	・模擬選挙	・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	4
3 学 期	進路探究	・自分の進路に関わる、社会問題等について調べ、課題を自分ごととして捉え、主体的・協働的に学び、行動につなげる。	・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	3
							合計 35